? s pn=63129564 S14 1 S PN=63129564 ? t s14/full 14/19/1 Links JAPIO (c) 2005 JPO & JAPIO. All rights reserved. 02512664 \*\*Image available\*\*

PREVENTING SYSTEM FOR UNAUTHORIZED COPYING OF RECORDING MEDIUM

**Pub. No.: 63-**129564 [JP 63129564 A] **Published:** June 01, 1988 (19880601)

Inventor: ITO HIROKO
TATSUTA MASAO
YUMOTO HIROSHI
SAKAI KAZUTO

Applicant: FUJITSU LTD [000522] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application No.: 61-275706 [JP 86275706]

Filed: November 19, 1986 (19861119)

International Class: [4] G11B-020/10; G06F-003/06; G06F-012/14

JAPIO Class: 42.5 (ELECTRONICS -- Equipment); 45.2 (INFORMATION PROCESSING --

Memory Units); 45.3 (INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)

Journal: Section: P, Section No. 771, Vol. 12, No. 388, Pg. 58, October 17, 1988 (19881017)

#### **ABSTRACT**

PURPOSE: To easily and surely prevent unauthorized copying from being generated, by providing a copy limiting information part in the access prohibited area of a recording medium, and providing a read/write prohibiting and cancelating means from the recording medium on a copying means, etc.

CONSTITUTION: The gate part 40 of a read/write means 4 is controlled by the control part 30 of the copying means 3 via a gate control means 7, and the prohibition of the read/write of the device 4 is released. And the copy limiting information of the access prohibited area in the recording medium 12a is read by a processing part 31, and the presence/absence of the write on the medium 12a is decided, and the written content of the medium 12a is read out by the means 4 when information is written on the medium, and the number of times of permitted copying is not zero, and the copying is performed on a copying recording medium 12b through the means 3 and the read/write means 5, etc., then, one is subtracted from the number of times of permitted copying of the medium 12a. In such way, the number of times of copying is limited, an the copying from a duplicate medium is prohibited, and also, the rewrite of the copy limiting information is prohibited, thereby, it is possible to easily and surely prevent the unauthorized copying from being generated.

#### 19日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

### <sup>®</sup> 公開特許公報(A) 昭63-129564

@Int_Cl_4	識別記号	<b>庁内整理番号</b>			88)6月1日	
G 11 B 20/10 G 06 F 3/06 12/14	3 0 4 3 2 0	R-6733-5D M-6711-5B F-7737-5B	審査請求	未請求	発明の数 1	(全5頁)

**図発明の名称** 記録媒体の不正複写防止方式

②特 顋 昭61-275706

**29出 願 昭61(1986)11月19日** 

砂発 明 者 伊 藤 弘 子 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 79発明 者 立 田 Œ 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 雄 砂発 明 者 湯 本 浩 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 内 79発 明 者 酒 井 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 和 人 内 ⑪出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 30代 理 人 弁理士 井桁 貞一

明 細 書

発明の名称
 記録媒体の不正復写防止方式

#### 2. 特許請求の範囲

媒体の不正複写防止方式。

#### 3. 発明の詳細な説明

〔概要〕

原始記録媒体の読み書き手段には、ゲートを設 け、複写手段にはこのゲートを制御して読み替き 手段の読み書きの禁止及び禁止を解除する手段を 設け、常時はこのゲートの制御により読み書きを 禁止して置くものとし、複写手段は複写動作に先 立ちこの読み書き禁止を解除し、複写動作終了時 には解除を戻して禁止状態にするようにしておき、 原始記録媒体として、予めアクセス禁止領域の複 写制限情報部に複写制限情報を書き込んである原 始記録媒体の複写制限情報部を読み取り、複写制 限の有無,複写許容回数の残数を知り、それによ り制限を行い、許容回数以内の複写を行う際は、 複製媒体にはアクセス禁止領域を除く複写許可領 城のみを推写し、終了時に原始記録媒体の複写制 限情報部の複写許容回数を更新することにより複 写回数を制限すると共に、再複写を防止する方式。

#### 〔産業上の利用分野〕

計算機のプログラム等のソフトウェアは制作者から提供されるものが多いが、一般の記録媒体(フロッピーディスク等)に記録して利用者に提供される。利用者個では、別途提供される複写手段により必要部数の複写を行っているが、本発明は、利用者側での複写回数の制限が必要な場合に利用するものである。

#### (従来の技術)

装置と共に提供される複写手段は機能的には、 読み出し書き込み時に於けるエラー検出及び修正 までを含むものであり、装置側の故障がなければ 複写は容易なものである。

従って、従来は、有償提供されるソフトウェアを無断複写から防止するために、有償ソフトウェアから複写をとる場合は、常に提供者製員の立会いを必要とする体制をとることで不正複写を防止していた。

尚、ソフトウェアの提供者が複写制限付で提供する原始記録媒体への記録内容の書込みは、前記利用者の複写手段とは別の非公開手段により行い、アクセス禁止領域の複写制限情報部には制限情報の初期値を登込んでおくものとする。

#### (発明が解決しようとする問題点)

ソフトウエアを記録媒体に記録して提供する場合、従来、媒体、記録様式等では、制作提供者が 提供した原始記録媒体か、利用者が複製したもの かを区別することが出来ず、利用者側に提供され ている装置及び複写手段により何回でも複写が出 来、何部でも複製が可能であり、複写制限付のソ フトウエアの有價提供は、提供者の立会い等を行 わない限り実質上無意味となっていた。

本発明は、有償ソフトウエア等の提供に於ける 上述の不正複写を自動的に防止することを目的と し、媒体の記録と複写手段に改善を加え、複写許 容回数内に複写回数を制限し、複写により複製 た複製媒体からは複写を不可能にすると共に、本 発明による複写手段以外の複写手段、例えばボリ ュームダンプ等による事実上の複写(デッドコピ ー)をも防止せんとするものである。

# 印 「 題点を解決するための手段)

#### (作用)

前記手段により、利用者に複写制限付で提供される媒体の、利用者側での複写回数は規定の通り制限され、更に複写により複製された記録媒体からの複写も禁止される。

又、複写制限情報部をアクセス禁止領域に書き 込むため、複写制限情報の不正書き換えを防止出 来、本発明による複写手段以外の手段による複写 も、原始記録媒体の読み書き手段 4 の読み書きが、 本発明の複写手段 3 以外には禁止されるので不可 能となり防止される。

#### (事締例)

実施例を図によって説明する。第2図は、本発明の実施例の説明図であり、同図(a)はプロック構成図、同図(b)は記録媒体上の記録様式の説明図であり、第3図は本発明の実施例のフローチャートである。尚、第2図(a)では、第1図と同一のもには同一の番号を付している。

第2図(a)は、複写装置6に於いて、原始記

録媒体 1 2 a が読み書き手段 4 にセットされ、複製媒体 1 2 b が読み書き手段 5 にセットされて、複写手段 3 により複写を行うプロック構成図である。

次ぎに、各プロックを説明すると、原始媒体の 読み書き手段4は読み書きを禁止するゲート部4 0を有しており、ゲート制御第7により制御される。複写手段3は、メモリ32を有し、メモリ3 2を介して複製媒体側の読み書き手段5を経て複 製媒体12 bへ複写を行う処理部31及び読み書き手段4.5の制御とゲート制御手段7の制御を 行う制御部30からなっており、図示のようにデータ及び制御の接続を有する。

原始記録媒体12a,複製媒体12bは夫々第 1図に於ける原始記録媒体1,複製媒体2であり、 以下説明する第2図(b)の記録媒体12の模式 になっている。

第2図(b)は、前記のように記録媒体12上の記録様式を示し、8はアクセス禁止領域であり、9は複写制限情報部、記録領域12内のアクセス

き禁止及び解除を行うようになっており、ゲート 制御手段7は複写手段3の制御部30からの指示 によりゲート40の制御を行うようにして置く。

従って、ゲート40は平常は閉じて読み書き手段4の読み書きを禁止して置き、複写手段3の動作時にのみ、ゲート制御手段7を経てゲート40を開き読み書きを可能とすることにより、他の手段による複写を禁止することが出来る。

利用者の複写の場合の本発明の動作を第3図ののでは、 
の本発明の動作を第3図ののでは、 
のないでは、 
のように動作する。

禁止領域 8 ( 例えば、フロッピーディスクならば 特定のトラック等 ) の領域内に、複写制限情報部 9 ( 小領域のためフラグと呼ばれることがある ) を設けたものである。

本実施例では、複写制限情報部9として1バイトの非公開の領域があり、有無表示10と許容回数表示11に夫々書込みがあり、例えば、複写制限の有無表示10では、1ビットを使用して有り11、無し10'の書込みがあり、許容回数表示11には7ビットを使用して2'-1までの制限回数の書込みが可能であるとする。

複写制限付で提供された記録媒体、即ち第名図 (者)の原稿媒体の複写制限情報部9には、提供 者側で出荷前の製造工程により、予め、必要な複 写制限情報が書込まれている。

被写手段3の動作の全体を説明する前に、第2図(a)によって、原始記録媒体12a側の読み 書き手段4の読み書き禁止及び解除に就いて説明 する。読み書き手段4はゲート40を有し、ゲート40はゲート制御手段7の制御を受けて読み書

複写制限の有無表示 1 0 が '1'である場合は、 複写制限があるから、②の判定は YESで、許容回 数表示 1 1 の内容数字を参照し0 であれば、④の 判定はNOで、複写残数がないので複写を実行する ことなく、複写不可の意を操作者に表示⑨して終 でする。

許容回数表示 1 1 の内容数字を参照し0 でない数字であれば、複写許容残数があるので、⑥の判定は YESで、アクセス禁止領域8 を除く複写許可領域の記録情報の複写を実行⑤し、複写終了時には、原始記録媒体1 2 a の複写許容回数表示 1 1 の数を 1 だけ波じて更新⑥を行う。

複写制限の有無表示10か 0の場合は、複写制限無しの場合であるから、③の判定はNOでアクセス禁止領域8を除く複写許可領域の記録情報の複写を実行③し、終了後の原始記録媒体12aの複写制限情報部9の更新動作は行わない。

場合に応じて、フローは3フローとなるが、何れの場合も、その末尾の⑤、⑥、⑥の段階を終わると、制御部30はゲート制御部7を介してゲー

#### 特開昭63-129564 (4)

ト部40を閉じて、①により解除した統み書き禁止領域の解除をもどして禁止状態にする動作のを行って全動作を終了する。

以上のように、複写手段3に持たせた機能と記録媒体のアクセス禁止領域の複写制限情報部9の 群込み情報により、複写制限付の原始記録録媒体 12aからの複製媒体12bへの複写は所定数内 に制限可能になり、且つ、複製媒体からの再複写 も防止することが出来、他の手段によるデッドコ ピーのような複写も防止出来る。

以上に述べた実施例では、複写制限情報部9の 許容複写回数表示11には、許容する複写回数そ のものを書込んで置き、複写毎に減じて行く例を 示したが、許容複写回数と複写回数はその差が重 要であって、複写許容回数と複写毎に増加させる 複写回数を書込んで置き、複写許容回数と複写回 数との比較により複写回数を制限する等の方法も 可能であることは言うまでもない。

#### (発明の効果)

- 3 は復写手段、
- 4は(原始記録媒体)読み書き手段、
- 5は(複製媒体)読み書き手段、
- 6 は複写装置、
- 7はゲート制御手段領域、
- 8はアクセス禁止領域、
- 9 は複写制限情報部、
- 10は複写制限有無表示、
- 11は許容復写回数表示、
- 12は記録領域、
- 1 2 a は原始記録媒体、
- 12bは複製記録媒体、
- 30は制御部、
- 31は処理部、
- 32はメモリ、
- 4 0 はゲート部

#### を示す。

代理人 弁理士 井桁 貞一



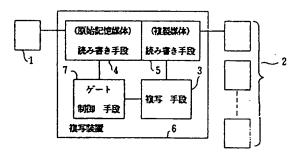
本発明によれば、記録媒体のアクセス禁止領域に で複写制限情報部を設け、複写手段には記録媒体 からの読み書き禁止及び解除手段を設けることを 共に、複製媒体からの再複写を禁じ、又複写制限 情報の書き換えを防止し、更に他の手段による限 情報の書き換えを防止し、更に他の手段による限 写も禁止出来る。従って、ソフトウェアと複写手段(装置,及びソフトウェア)の双方を提供する 提供者は、この方式により、容易に不正複写防止を行うことが出来る効果がある。

#### 4. 図面の簡単な説明

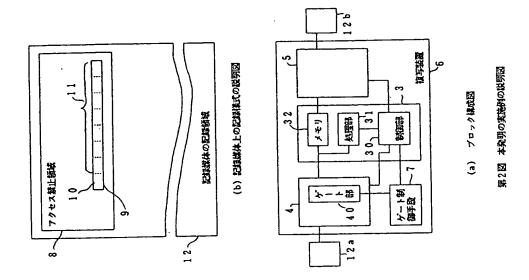
第1図は本発明の原理図、第2図は、本発明の 実施例の説明図、第3図は本発明の実施例のフローチャートである。第2図に於いて(a)はプロック構成図、(b)は記録媒体上の記録様式の説明図である。

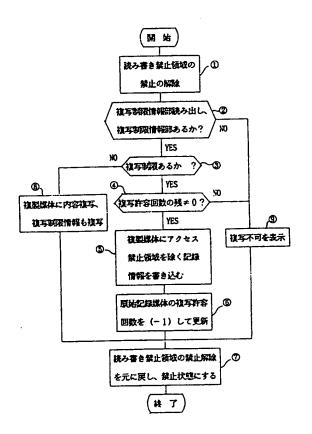
図に於いて、

- 1は記録媒体、
- 2 は複製媒体、



第1図 本発明の原理図





第3図 本発明の実施例の動作を説明するフローチャート

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.